

「空き家を活用した観光まちづくり」

# 伊賀上野城下町ホテルが開業します



KOURAI 棟

整備を進めてきた伊賀上野城下町ホテル事業について、旧栄楽館など第1期事業の2棟が「NIPPONIA HOTEL」として11月1日から開業します。

## ◆伊賀上野城下町ホテル事業

伊賀上野城下町には、町家や蔵造りなどの歴史的建物が数多く残っています。しかし、活用されないまま放置される場合もあり、貴重な建造物が徐々に失われています。

伊賀上野城下町ホテル事業は、これらの建物を宿泊施設や飲食店などに改修して活用することで、町並みや歴史的建物を保存し、まちの賑わいに繋げていくことを目的としています。

この事業を通じて、空き家の有効活用、中心市街地の賑わいと移住者の増加をめざし、官民連携して長期的に取り組んでいきます。

## ◆これまでの経緯

2020年			2019年			
11月	9月	3月	10月	7月	6月	3月
伊賀上野城下町ホテル開業	旧広部邸改修工事完成	旧栄楽館改修工事完成	ホテル運営会社が決定	古民家等再生活用指針に基づき、空き家をホテルなどに改修する事業を行う「㈱NOTE伊賀上野」設立。	伊賀上野城下町ホテルなどの事業計画をとりまとめた「伊賀市古民家等再生活用指針」を策定	JR西日本㈱・㈱NOTE・(社)ノオト・市で、歴史的資源を活用した地域活性化に向けた業務連携協定を締結

◆ NIPPONIA HOTEL  
伊賀上野城下町

○ KANMURI棟  
客室3室、フロント、レストラン



○ KOURAI棟  
客室3室、  
テナントショップ（くみひも店）



◆ ホテルの特徴

歴史的建物を改修して、壁や建具など、その建物が建てられた当時の趣を可能な限り残した、歴史を感じさせる宿泊施設となっています。

レストランでは伊賀焼の器を使い、高品質の伊賀ブランドを多く使った創作料理を提供します。

ホテルの棟名は伊賀の伝統工芸である組みひもの組み方の種類を基に名付けています。



ディナー



KANMURI 棟

ホテル運営：バリニューマネジメント㈱

「日本の文化を紡ぐ」ことをテーマに、歴史的建造物や町並みを宿泊施設、レストラン、結婚式などの事業に活用し、後世に残す取り組みをしている会社で、内閣官房観光戦略実行推進室歴史的資源を活用した観光まちづくりユニットメンバーに選定されています。

城下町ホテル事業



Q 市はどういう関わりをしていますか？

A 市は古民家等再生活用指針を策定し、空き家（歴史的建築物など）を活用したまちづくりのビジョンを示すとともに、事業者の支援を行っています。

また、事業の立ち上げにあたり、拠点施設として旧栄楽館をホテルに改修しました。

ホテルの運営は基本的に民間事業者が行います。

Q コロナ禍の中、ホテルの経営は大丈夫？

A このホテルは客室数が1棟あたり

内覧会を開催します

市民の皆さんに親しみを持っていただけるホテルとなるよう、内覧会を行います。

【とき】11月15日(日) 13:00~15:00  
【ところ】NIPPONIA HOTEL伊賀上野城下町  
KANMURI棟 (旧栄楽館 上野相生町2842)  
KOURAI棟 (旧広部邸 上野農人町422)  
2棟同時開催

※混雑時は入場を制限する場合があります。  
車でお越しの場合は、近隣の有料駐車場をご利用ください。

り3室程度と少なく、3密が発生しにくい環境のため、安全で安心な旅としての需要を見込んでいます。ホテル運営会社では、伊賀の観光地としての魅力や今回の施設内容からみて、計画どおり事業運営ができると考えています。

Q 宿泊客にアピールしたい伊賀市の魅力は？

A 伊賀には伊賀上野城を中心とする城下町の町並みや、伊賀流忍術発祥の地にちなんだ観光資源などが多くあり、近年では「いがぶら」に代表される体験型コンテンツも充実しています。また、伊賀牛、伊賀米、日本酒などの食文化もあり、これらは他地域に負けない魅力です。

Q 城下町地区だけでなく、他の地域に広げていく予定はありますか？

A 当面は歴史的建造物が多く、観光施設が集まっている伊賀上野城下町地区をモデル地区として進めていきます。その後、収益が安定した段階で、城下町地区に限らず、市内各地区の特性を生かした事業を進めていく予定です。

【問い合わせ】

空き家対策室

☎ 22・9676 FAX 22・9641

✉ shimin@city.iga.lg.jp